

科目名	カット＆カラーⅡ		Subject	Cut&ColorⅡ				
サブタイトル	美容サロン技術							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
1年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
実習	2単位	60時間						
ゲストスピーカー招聘回		23, 24	○		◎	○		
教員名	ヘアチーム			メールアドレス	hair@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 美容師経験者：美容師としての経験をもとに、実践に即した内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
1) 美容師に必要な知識・技能を元に、時代のニーズを取り入れた授業を展開する 2) 美容技術プログラム・ピボットポイントシステムにおける、ヘアスカルプチャー・ヘアカラーリングの基礎理論を理解し、テクニックを習得していく。また創造力を刺激し、洗練されたデザインの基盤を作り上げる 3) ヘアスタイリングするうえで、サロンワークの基礎であるシャンプー技術とブロー技術を学び、プロとして通用する技術力を習得する 4) 習得した知識や技術を繰り返し復習し実践することで、自身の課題発見につなげ、応用する場面を想定できるようにしていく 5) 習得した知識や技術を繰り返し行うことで、自身の課題発見につながり、応用する場面を想定できる								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	あり			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP3	習得した知識や技術に対する自身の課題を発見し、ステップアップすることができる							
DP1	美容に関する基礎的理論と知識を理解し、基礎技術を応用する場面が想定できる							
DP4	ピボットポイントシステムを理解し、作品を通して自己表現することができる							
教科書・教材								
教科書	『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編（2026年）、配布プリント、HAIR SCULPTURE PIVOT POINT 2014、教員作成資料							
参考文献	『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編（2026年）、HAIR SCULPTURE PIVOT POINT 2014							
各自準備教材	消耗品（白タオル、ラップ、輪ゴム、シャンプー、トリートメント等）・スマートフォン・筆記用具・B5大学ノート（リングノート不可）							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	80%	10%	-	-	-	-	10%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
美容技術を学ぶにあたり、遅刻・欠席はスキルアップに支障が出る為原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退出等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合があります。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 展開図の書き方 レイヤー（１） 基礎理論を再確認し、トレンド・全体のヘアバランスを学ぶ	レイヤーヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を述べることができる	予習：レイヤー理論（P110～117）を再熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 2 回	レイヤー（２） 課題２－４を実践し、スタイル評価（A～Z まで）を受ける	レイヤーヘアスタイルをカット＆ブローすることができる	予習：課題２－４（P37～39）を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 3 回	レイヤー（３） 課題２－W6を実践し、スタイル評価（A～Z まで）を受ける	レイヤースタイル（縦のライン）を行うことができる	予習：課題２－W6（P118～125）を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 4 回	レイヤー（４） 課題２－W6を実践し、ロールブラシでブローを実践する	ロールブラシを使用しスタイルに合ったブローを行うことができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 5 回	レイヤー（５） 課題２－W8を実践し、スタイル評価（A～Z まで）を受ける	レイヤースタイル（水平のライン）を行うことができる	予習：課題２－W8（P134～141）を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 6 回	レイヤー（６） 課題２－W8を実践し、ブローを実践する	ブラシを使用しスタイルに合ったブローを行うことができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 7 回	セიმレイヤー（１） 基礎理論を再確認し、トレンド・全体のヘアバランスを学ぶ	セიმレイヤーヘアスタイルの種類と全体バランス・展開図を述べることができる	予習：セიმレイヤー理論（P142～147）を再熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 8 回	セიმレイヤー（２） 課題２－５を実践し、スタイル評価（A～Z まで）を受ける	セიმレイヤーヘアスタイルをカット＆ブローすることができる	予習：課題２－４（P40～42）を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 9 回	セიმレイヤー（３） 課題２－W9を実践し、スタイル評価（A～Z まで）を受ける	セიმレイヤースタイル（横と縦のライン）を行うことができる	予習：課題２－W9（P148～152）を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 10 回	セიმレイヤー（４） 課題２－W9を実践し、ハンドブローを実践する	ハンドブローでスタイルに合ったブローを行うことができる	予習：ウィッグでのブロー練習を行う 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 11 回	アドバンス（１） 基礎理論と課題ウィッグの観察方法を学ぶ	アドバンスの基礎理論を説明できる	予習：アドバンス理論（P164～172）を再熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 12 回	アドバンス（２） 課題 3-1.2 を実践し、スタイル評価（A～Z まで）を受ける	美容の逆算思考を実施することができる	予習：課題 3-1.2（P173～177）を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 13 回	ヘアカラーリング（１） 酸化染毛剤のカラー配合による色の変化を知る	酸化染毛剤のカラー配合について説明することができる	予習：酸化染毛剤理論を熟読する 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 14 回	ヘアカラーリング（２） アンダーカラーを見極めたカラー配合を実践する	アンダーカラーを見極めながらカラー調合を行うことができる 仕上がりが度合いを比較することができる	予習：女性モードアプリを活用し様々なカラー調合をしているヘアスタイルを調べてくる 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分
第 15 回	ヘアカラーリング（３） 脱色剤の塗布をウィーピングで実践する	的確にチップを取ることができる	予習：ウィッグでチップの練習を行う 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第16回	ヘアカラーリング（4） 脱色剤の塗布をウィービングで実践する	仕上がりイメージした塗布を行うことができる	予習：女性モードアプリを活用しハイライトを入れたヘアスタイルを調べてくる 復習：授業の振り返りを行う・黒板板書を見直す	60分
第17回	一眼レフの撮影方法を学ぶ 【ゲストスピーカー：西 将隆】	一眼レフの使用方法を理解することができる	予習：一眼レフの使い方を調べておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第18回	一眼レフを使用しグループワークで撮影を行う 【ゲストスピーカー：西 将隆】	一眼レフを使用し作品を作成することができる	予習：撮影したい作品のイメージを考えておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第19回	サロンの知識・実践（1） ヘアカラー理論を再確認する	カラー理論を理解し、適切なヘアカラーを行う準備ができる	予習：女性モードアプリを活用しヘアカラーの知識を取り入れておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第20回	サロンの知識・実践（2） ヘアカラーの塗布練習をモデルで実践する	トリートメントを用いてヘアカラーを想定し、人頭に塗布することができる 乳化をすることができる	予習：ヘアカラー塗布順番などを確認しておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第21回	サロンの知識・実践（3） ヘアカラーをモデルに塗布し時間を置く	ヘアカラーを人頭に塗布することができる	予習：モデルの髪質やダメージ状態を確認し、資料に記入する 復習：授業の振り返りを行う	60分
第22回	サロンの知識・実践（4） カラーの発色を確認し、シャンプー＆ブローを行う	ヘアカラーの発色状態を確認し、実践することができる	予習：モデルが希望する髪色のカウンセリングを行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第23回	サロンの知識・実践（5） ヘアカラーモデルをスタイリングする 【ゲストスピーカー：西 将隆】	モデルに合ったスタイリングを行うことができる	予習：モデルをイメージしたスタイリングを考えておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第24回	サロンの知識・実践（6） モデルの雰囲気に合わせたヘアメイクを行い撮影する 【ゲストスピーカー：西 将隆】	ヘアメイクで撮影したいイメージを作り上げることができる	予習：撮影に向けたヘアメイクを考えておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第25回	作品制作（1） 作品制作準備 毛量調整	シザーズとセニングを使用し、ウィッグの毛量調整を行うことができる	予習：様々な毛量調整技法確認しておく 復習：授業の振り返りを行う	60分
第26回	作品制作（2） スタイリングを実践する	完成作品を想定し、コテやストレートアイロンでスタイリングを行うことができる	予習：ウィッグでのスタイリング練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第27回	作品制作（3） hair sculpture 作品制作（カット）を行う	自分で考えた展開図通りに作品のカットを実践することができる	予習：自分で考えた展開図を作成し、カットの練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第28回	作品制作（4） hair sculpture 作品制作（ブロー＆セット）を行う	作品のブローを行い、セットを実践することができる	予習：各ブローブラシの使用練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第29回	作品制作（5） color design 作品制作（ヘアカラー）を行う	自分で考えた手順通りにヘアカラーを実践することができる	予習：ヘアカラー手順を考え、イメージトレーニングを行う 復習：授業の振り返りを行う	60分
第30回	作品制作（6） color design 作品制作（フィニッシュワーク）を行う	フィニッシュワークを使用し、作品の仕上げを実践することができる	予習：完成作品をイメージし仕上げ練習を行う 復習：授業の振り返りを行う	60分